

光洋金属防蝕、鋳物の表面処理を高度化 複雑形状のメッキ加工可能、シエア拡大



鋳物メッキ施工技術を向上させる
光洋金属防蝕

メーカーから、大型油圧コンプレッサのシリンダメッキ施工の依頼が寄せられている。施工技術の確立で、複雑形状の大型鋳物の県内シエア50%確保も可能になるとしている。清見原社長は「大型鋳物のメッキの高品質化は、他社との差別化になる。この取り組みをベースに、シエアを拡大していく」と話している。

(株)光洋金属防蝕（下松市西豊井三谷屋1387-10、資本金1,000万円、清見原和則社長）は、新たな設備を導入し、複雑な形状の鋳物メッキ施工技術を向上させる。

鋳物製品は、製造工程で表面に多くの巣穴が形成。複雑形状の製品には、形状を考慮した前処理やメッキ工程が重要になる。

同社では、国のものづくり補助金を活用して、超音波洗浄機、電解洗浄に必要な高速反転電源装置、電気炉を導入。電磁波で鋳物に付着した油の脱脂と洗浄、表面不純物はく離除去、メッキ後の硬度を高める熱処理の全工程を高度化した。

新設備の稼働で、高硬度のメッキ被膜を実現。確かな品質で、鋳物メッキ施工の新たな需要を取り込む。

同社には、石油、プラント